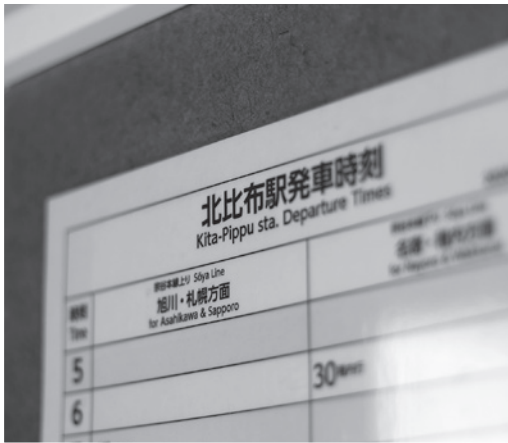




比布町ふるさと通信  
2021年号

# ひび



# ありがとう南比布駅・北比布駅



令和3年3月12日で役割を終え、南比布駅と北比布駅が廃駅になります

## 「南比布駅」と「北比布駅」の歴史

明治31年11月25日に天塩線（現在の宗谷本線）として旭川・蘭留間が早くも開通し、比布と蘭留の2駅が設けられました。両駅を中心に市街が栄えると、39年には、鷹栖村から分村して比布村が開村しました。

その後、北永山臨時乗降場が設置されたのを機に、村内でも中間駅設置を望む声が上がりました。昭和29年から陳情活動が展開されました。翌30年12月2日、ディーゼル気動車の運行が始まり、中間駅の仮乗降場として開業。33年に両地区の地域住民たちにより簡易待合所が建てられました。

昭和34年11月1日、南北両臨時乗降場は南比布駅、北比布駅として常設駅にされ、通勤や通学を中心とした多くの皆さんの足となり、本町の発展に大きく貢献されました。

## 「南比布駅」と「北比布駅」の改築

地域住民の力で建てられた両駅の簡易待合所。大切に使われながらも、何度となく修繕を繰り返し、思い出

深い建物として維持されてきました。しかし、経年による老朽化のため、平成26年12月に現在の待合所として町が建て替えました。

## 利用者の減少により廃駅が存続か

JR北海道は、厳しい経営状況から、平成26年から30年の5年平均で1日当たりの乗車が3人以下の駅について、地元自治体の負担がない場合は、廃止する旨の申し入れがありました。これに伴い、南比布、北比布、蘭留の3つの駅が廃止対象となり、令和元年11月に開催した「まちづくり懇談会」で各地域で対象駅に対する意見交換を行いました。その中で、蘭留駅廃止に反対する声を受け、令和2年2月22日に住民説明会を開催。JR北海道職員から現状と蘭留駅の利用状況などの説明がありました。地域の皆さんの意見をくみ取り検討を重ねた結果、3月議会で南比布駅・北比布駅廃止の受け入れと蘭留駅を存続させる方針を示しました。その後、蘭留振興会に蘭留駅の管理を一部委託することが決まりました。

## 両駅の駅名標が盗難にあつ

令和2年10月中旬に南比布駅と北比布駅の駅名標が盗難にあつたことが発覚。駅名標は、駅名がひらがなで表示された金属製のプレートで、南比布駅では2点とも、北比布駅では1点、盗まれていました。町では、駅名標などを廃駅後に譲り受けて展示する予定だったがだけに非常に残念な結果となりました。

駅名標は、そっと返してほしいです！



## 簡易待合所のこれから

田園風景の中にひっそりとたたずむ小さな無人駅。3月12日をもって、約65年以上続いた役割を終えます。両駅の簡易待合所は、廃駅後に他の公共施設へ移設され、新たな形で再活用される予定です。



## ふるさと会から

残念ながら、3つのふるさと会とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度は中止となりました。

今後の開催についても、時期なども含めて検討中です。

詳しくは、各連絡先または比布町役場総務企画課まちづくり推進室広報係へお気軽にご連絡ください。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、再びふるさと会の交流が再開できますことを願っています。

▼写真は前回の総会時の様子



### 旭川比布同郷会

- 会長 合田 春夫さん
- 会員 約350人
- 総会 毎年3月中旬ごろ
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 今野浩安さん ☎0166-61-4492



### 札幌比布会

- 会長 大谷 知彰さん
- 会員 約250人
- 総会 毎年7月上旬ごろ
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 高橋美伸さん ☎090-1640-3453



### 東京比布会

- 会長 牧野 正さん
- 会員 約300人
- 総会 毎年6月下旬ごろ
- 会費 8,000円程度
- 連絡先 深瀬和昭さん ☎048-554-6765

ふるさとの味をお届けします!!

## ふるさと納税

比布を応援してください!

「ふるさと納税」とは、応援したい自治体への寄附を通じて、その寄附額の一定限度額を居住地の個人住民税・所得税から控除できる制度です。

### かっぱの健卵

昭和30年に創業し、60年以上続く大熊養鶏場では、健康な卵を販売。鶏のエサからこだわり、添加物・化合物を排除した「かっぱの健卵」には、アスタキサンチンが含まれていて、健康や美容にも良い効果を発揮します。卵は、毎日1〜2個食べても大丈夫！ぜひ、ご賞味ください!

お子様にも安心して食べていただける「かっぱの健卵」です!

ゆめぴりか精米      ミニトマトの「ジェルバ」      にじますイクラ

返礼品は上記の他にも、TKGセット、メロン「甘栗」、苺ジャムなど約100品から選ぶことができます。

詳しくはコチラのHPを検索

- 9月28日 教育委員会が通年寺子屋「ほくれい塾」(小学4年〜6年生対象)を毎週月曜日に開講
- 10月12日 J Aぴっぷ町が学校給食に新米「ななつぼし」2020キロを寄贈
- 10月18日 町が第1回ヒルクライムレース大会PIPPU1000をびっぷスキー場で開催
- 11月27日 町内での交通事故死ゼロ1000日を達成
- 令和3年2月4日 旭川実業高校2年の山田萌華さんが2020年度北海道高等学校新人戦ソフトニス選手権大会兼第46回全日本高等学校選抜ソフトニス大会北海道予選(団体)で全道優勝
- 2月7日 中央小学校3年の梅澤満喜君が第1回全国小学生棋童戦北海道予選将棋大会(低学年の部)で全道優勝

## まちのできごと Town News

2020.3-2021.2



うれしば保育園びっぷ開園式

# 歴史を訪ねて

昭和23年に1月15日を「成人の日」として国民の祝日に制定。平成12年には、ハッピーマンデー制度が導入され、1月の第2月曜日に移動。平成30年には、民法の一部を改正する法律が成立され、令和4年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられる。

## 成人式の変せん

昭和24年1月15日に第1回の成人式が役場で行われ、163人が大人の仲間入りをした。翌25年の第2回成人式は公民館で開催され、君が代斉唱、成人者代表宣言、成人章授与のほか、式典終了後には、幻灯会、意見発表会が計画された。出席者は143人中わずか32人で当時の成人式に対する認識は浅いものであった。

昭和31年ごろには会場が中学校に変わり、婦人会による食事の接待も行われ、回を重ねるごとに関心も高まった。また、43年には、かぞえ年方式から満年齢で行うため成人式を中止し、1年延期された。以後、45年には中央小学校を会場に「体力テスト」、翌46年には「青年の主張」など趣向を凝らした。47年からは、福祉会館で、成人代表者の意見も取り入れ、意義のある式典運営に努めた。

なお、昭和57年からは、対象者を学齢方式に合わせ、例年よりも20人以上多い119人（うち88人出席）が対象となったが、32年の207人をピークに成人者数は次第に減少。しかし、59年は92人中81人が出席するなど出席率は高まり、女子の服装のほとんどを占める和服姿は、さらに華やかなものとなっていった。

（参考・比布町史第2巻）

【昭和45年成人式】  
中央小学校で体力テストが行われた。



【令和3年成人式】  
道内の自治体が延期や中止をする中、新型コロナウイルス感染症に対する万全の対策を講じて挙行された。（記念撮影のため、一時的にマスクを外しています。）



【昭和44年成人式】

昭和40年前後からは、出席者の服装が次第に華やかさを増し、できるだけ新調せずに平服で出席するよう広報紙で呼びかけられた。

### 発行・編集

ふるさと通信『ぴぴ』 令和3年3月3日発行(通巻第21号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課まちづくり推進室広報係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール [ichigo@town.pippu.hokkaido.jp](mailto:ichigo@town.pippu.hokkaido.jp)



新しく建て替えられた火葬場

### まちの人口

総数 3,617人

男 1,702人

女 1,915人

世帯数 1,801世帯

■令和3年1月末日現在  
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴぴ」は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。

みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。